

# ロシアの蛮行は絶対に許せない!!

県下各地で連日街頭から訴える



《立ち上がる市民・ロシアのウクライナ侵略直ちに止めよ》

**ウクライナの悲劇 我がことに  
進む!! 救援・支援のたたかいと募金活動**



長野県版  
第4932号  
2022年3月

治安維持法同盟

長野県本部  
〒380-8790  
長野市県町593  
高校会館内

連絡 竹村利幸方  
TEL・026-226-0854  
FAX・026-266-0864

## ロシアのウクライナへの侵略に 断固抗議し、即時撤退を要求する

国賠同盟長野県本部常任理事会

ロシア軍は2月24日ウクライナへ進攻し、首都キエフに戦車が入り本格的な侵略戦争が開始され、キエフ制圧を目指している。これはウクライナの主権を侵害し、市民の命と暮らし、安全を破壊するもので断じて許すことはできない。さらにプーチン大統領は、「ロシアは核保有大国である」とことを強調した。これは核兵器禁止条約が禁止した「威嚇」であり、言語道断である。

プーチン大統領の大國主義、覇権主義を断固糾弾する。ロシアは国連憲章を守り、ウクライナ侵略を直ちにやめ即時撤退することを厳しく要求するものである。

「再び戦争と暗黒政治を許すな!」「憲法9条守れ!」を掲げて50余年。治安維持法同盟は、ロシアのウクライナ侵略を受けて、日本維新の会元代表の橋下徹氏や、安倍晋三元首相らが、自衛隊が「敵基地攻撃能力」をもつことを声高に叫び、非核3原則を反故にする「核共有」論を唱えていることは、日本が核武装することであり絶対に容認することはできない。

ロシアは国際法に違反する野蛮なウクライナ進攻をやめ、直ちに撤退することを、重ねて厳しく要求するものである。

2022年3月16日

治安維持法同盟長野県本部は、3月16日開催された「2021年度第4回常任理事会」で上記の抗議文を採択し、ロシア大使館を通して「プーチン大統領」に送付しました。

# 東日本大震災・福島原発事故から11年

会・宣伝・スタンディング等のとりくみが県下各地で行われました。長野市の駅前では30数名の団体・市民が参加し、2時46分には宣伝を一時中断して黙祷を捧げました。歩いている通行人の方の中にも一緒に黙祷をされる方も見受けられました。



黙祷3月11日午後2時46分（長野駅前）

4月15日封切さらに上映会場を増やそう

|     |             |                           |
|-----|-------------|---------------------------|
| 飯山  | 4月24日       | なちゅらホール 14:00             |
| 長野  | 5月15日       | 若里市民文化ホール 10:30 14:00     |
|     | 5月22日       | 柳原東部文化ホール 10:30 14:00     |
|     | 6月05日       | 松代文化ホール 10:30 14:00       |
| 中信  | 4月23日       | 松本市民芸術館 10:00 13:30       |
|     | 5月29日       | 安曇野市穂高交流センター 10:00 13:30  |
| 塩尻  | 5月22日       | えんぱーく 10:00 13:30         |
| 木曾  | 5月22日       | 木曾町文化交流センター 10:00 13:00   |
| 上小  | 4月22日       | 上田市こぶし会館 午後               |
|     | 6月4日        | 上田劇場                      |
| 諏訪  | 5月27日       | 岡谷カノラホール 14:00            |
|     | 5月28日       | 諏訪市文化センター 14:00           |
|     | 5月29日       | 茅野市新星劇場 10:00 14:00 18:00 |
|     | 5月30日       | 下諏訪町総合文化センター 14:00 18:30  |
| 飯伊  | 5月15日・22日   | 飯田鼎文化ホール 午後               |
|     | 5月29日       | 豊丘村 午後                    |
| 上伊那 | 5月7日辰野町     | 5月8日蓑輪町 5月14日南箕輪          |
|     | 5月15日西箕輪    | 5月21日伊那市 5月22日高遠          |
|     | 5月28日宮田・駒ヶ根 | 5月29日飯島中川                 |

## ウクライナの惨劇と重ね命の大切さを

進まない原発復興、まだ避難者は4万人

東日本大震災・福島原発事故から11年目を迎えた。このメモリアルデーを忘れない各種の取り組みが県下各地で行われました。国と東電は、被災者支援措置を打ち切り、復興支援の幕引きをしていますが、いまだメルトダウンした核燃料には手をつけられず、汚染水は溜まるいっぽう、故郷を失い、避難している住民は4万人超える実状です。

大切さを訴える集

1年会・宣伝・スタンディング等のヒント

くみが県下各地で

故行れました。長野市の駅前では30

発事  
数名の団体・市民が

島原 参加し 2時44分

・福  
断して黙祷を捧げ

東日本大震災  
ました。歩いてい  
る通行人の方の中  
にも一緒に黙祷を  
される方も見受け  
られました。



2022年月15日 月刊「不屈」No. 573付録

# 治安維持法と転向弾圧は人間を破壊する —碓田のぼるさんが記念講演—

2021年度の「二・四事件」に学ぶ学習集会は、3月6日、長野市の教育会館で開催され、会場参加・44名、オンライン聴取33名が県下各地から参加されました。昨年はコロナの影響で中止され2年ぶりの開催となりました。



講演する准田と会場参詣者

2022年2月末の組織実態

#### ◆同盟会員の拡大

|            |      |
|------------|------|
| 2月度の増員     | なし   |
| 2月度の減員     | 1名   |
| 中信支部       | 1名   |
| 2月末の会員数    | 541名 |
| 2021年総会目標、 | 600名 |
| 550名の回復へ   | 9名   |
| 600名目標まで   | 59名  |

◆国会請願署名

|        |       |
|--------|-------|
| 2月の増数  | 717筆  |
| 2月末の総数 | 3428筆 |
| 前年実績   | 6500筆 |

同盟員1人10筆運動にすべての同盟員が頑張りましょう  
通常国会への請願は、5月11日です。それまでに全力を！

生に求めている、良く分かる話でした。事件当時、全国教労組織で最も大きな勢力と力を持っていた長野の指導的立場の藤原についてはしつかりしたインタビューで彼の人柄や実績を評価しているが、同じ高島小学校に在籍していたが「千代子」については知らな

《まとめ：閉会挨拶する遠山会長》



## いのちが動く

村上 さかえ

亡き夫の髪の香残る櫛抱き涙せし日も遠くなりゆく  
地吹雪も狂いて嘆け友逝きぬともに語りし若き日の夢  
看取られぬままに逝きたる人ありと「自宅療養」うつろに  
響く

「おみやげ」と回栗ひとつ手のひらに乗せてほほえむ幼三歳  
千からびておるやに見える冬越しの蛹が動くいのちが動く

解題・・・(遠山 茂治)

長野市詩人会議の詩誌「狼煙」からの抜粋。同誌は詩を中心の冊子だが、短歌、俳句も掲載。その中の数少ない短歌人、特定のグループに所属せず、独自に創作に取り組む感性ゆたかな坂城在住の人。  
一首目、櫛に残ったかすかな亡き夫の香、なんとも悲しい、それも遠い日の事になつた。目の前にはきびしい現実が押し寄せる。  
二首目、親しい友人の死、「地吹雪も狂いて嘆け」の上二句に対する「若き日の夢」はちょっと甘いか。  
三首目、「うつろに響く」は庶民の感覚。コロナ対策の批判。

四首目、初句の「おみやげ」と結句の「幼三歳」が呼応してい  
てほほえましい。

五首目、作者は人参に生みつけられた蛹の幼虫を、お孫さんと  
供に飼育している。命の賛歌。下句のリフレインが効果的。

## 『アンブレイカブル』を読んで

中信支部 島崎建代

## 読後感



『アンブレイカブル』（敗れざる者）柳広司著（ノンフィクション作家）の力バー表紙にこう書かれています。「罪は探すな、仕立て上げろ」「1925年、治安維持法成立。太平洋戦争の軍靴の響きが迫るなか、罪状捏造に走る官憲と、信念を貫く男達の闘いが始まった・・・」。本書は4部からなっています。最初の「雲雀」（ひばり）で、小林多喜二の『蟹工船』が主題です。第2部は、「叛徒」、川柳作家鶴彬を中心に。第3部は、「虐殺」志木裕一郎など次々と「消されて」いきます。第四部「矜持」は、三木清の獄死が主題。監獄の残酷さ、過酷さが強烈なリアリズムで執筆されていて、強烈な印象の読み物です。

『三木清』が見直されています。『治安維持法における「国体」の問題』（『前衛1月号』）荻野富士夫著。『戦争と弾圧』（3・15事件と特高課長の軌跡）纏纏厚著。『ある戦時下の抵抗』（戸坂潤と仲間たち）岩倉博著、『ある哲学者の軌跡』（古在由重と「唯研」の仲間たち）岩倉博著、これらの著書に三木が登場します。私は、「獄死」に敬意の思いで『三木清全集』を購入しました。戦後も「治安維持法」は脈々と生きています。1967年、塩尻市長選で高砂政郎氏が当選しました。全国初の共産党員市長の誕生でしたが、その後の再選の時、「民主高砂」の対立候補に立つたのは、なんと元「特高」（社会党の県議）でした。また、1968年頃、国鉄の私の（島崎）の職場に元憲兵の管理職が派遣されてきました。私の親しい友達を管理職に登用して、党支部を破壊していきました。今、国鉄では安保法制に実効性をもたらせるため、「自公」与党、維新と国民党との

危険な状態。憲法審査会での「審査」を利用して改憲の動きが顕在化しています。改憲勢力を3分の2以上にするため参院選で力を合わせ頑張りましょう。